

## 1 はじめに 【熊本博物館と学校とのよりよい連携を求めて】

社会教育施設・生涯学習施設の一つである博物館と学校との連携（博学連携）につきましては、その必要性や重要性が近年さらに高まっています。

そのような状況をふまえ、本館がこれまで行ってきた様々な教育普及活動の中で学校教育に関わる部分を強化すべく、リニューアルを機に収蔵資料・展示資料の見直し作業を進めるとともに、教材として価値のある資料と学芸員の専門性（知識や技能など）を有効活用するために『学校教育支援事業』を展開しているところです。

『学校教育支援事業』は、学芸員・研究員が要請に応じて各学校に赴く「ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業）」と、博物館内に新設される講堂や実験・工作室においてオリエンテーションとして展示資料（数点）の魅力や価値にふれる「館内学習支援活動（お迎え事業）」の2本柱からなります。

前者の「派遣授業プログラム集」は2014年に初版、2016年に改訂版をお届けして実践を重ねておりますが、この度、後者の「館内学習プログラム集」につきましても発刊の運びとなりました。

平成30（2018）年12月にリニューアルオープン予定の熊本博物館にて本プログラムを活用し、館内学習を深めていただけたら幸いです。

本書によって熊本博物館を一層身近に感じていただき、よりよい「博学連携」ができますようにと願っています。また、このプログラム集の作成にあたり、展開例や学習シートの原案作りにご尽力を賜りました8名の研究協力員の先生方には、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

なお、本館の様々な取り組みにつきましては、熊本博物館のホームページでも紹介しておりますのでこちらもご利用ください（新URLは巻末に掲載）。

平成30（2018）年3月  
熊本博物館

※ 表紙は、熊本博物館の屋根の様子（屋上より西側の金峰山を望む）を撮影した写真と、新しく設定した「ロゴマーク」です。